

令和5年度 青果物販売情勢について

令和5年8月23日（水）現在

【 果 樹 】

「もも」

関東・関西ともに一定以上の売り場確保がされている中、全体量が減少傾向にあり荷動き良く相場については保合。

単価：（まどか）特秀 15玉 3,500円-3,300円 18玉 3,300-3,000円

（川中島）特秀 15玉 3,500円-3,300円 18玉 3,300-3,000円

「ナシ」

売り場は順調に広がっており、天候も暑い日が続いていることから販売条件が良く荷も滞りなく動いている状況で相場は保合。

単価（特秀） 28玉 4,500 32玉 4,200-4,000 36玉 3,700-3,500 40玉 3,200-3,000

【 野 菜 】

「きゅうり」

関東・東北産抑制作が増量傾向も末端からの引き合いは強い販売環境で各階級荷動きは良いが先日相場を上げたことから保合相場となっている。

単価：5kg A品 2,500-2,200円

「ミニトマト」

北海道・東北産の入荷量が微減傾向の中、不足感強く相場を強めているが、バラ規格は北海道産・関東抑制作の入荷があり安定した数量から保合となっている。

単価：200g パック AM 160-150円

「いんげん」

全体量が非常に少なく絶対量不足の環境が続いているが、末端の売り場も縮小傾向となっているため相場は高値維持の保合となっている。

単価：2kg 箱 A 4,000-3,500円